



五小だより

No.14



令和2年12月2日 館林市立第五小学校

ゲーム障害（依存症）について

市内の小中学校長が集まる会議の中で、館林市の教育支援委員会に関わっている医師から「近頃、不登校の相談において、ゲーム依存が疑われるケースが目立つ」とのコメントがあったとの報告がありました。最初は『ゲームにはまってる』と気軽に考えているうちに進行してしまうのがゲーム障害（依存症）という病気です。特に、インターネットに接続されているオンラインゲームの場合、一緒にプレイする仲間がいて、そこに対人関係や競争が生まれ、それにより依存性を益々高めてしまうようです。そして、気づいたら・・・

- ゲームをするために睡眠や学習の時間を削っている。
- 食事中や他人との会話中にもゲームをしている。
- イライラしたり、体調不良が起こったりする。

など、健康や生活へ支障を来すことになってしまいます。

このコロナ禍で、こんなことはないでしょうか？ちょっと体調が悪いので、「念のため」「大事をとって」学校を欠席した。ずっと寝ているほど具合は悪くないので、ついゲームをしてしまった。こんなことを何回か続けていると、「ゲームがやりたいから、学校休んでしまおう」と考えるお子さんが出てきても不思議ではありません。そうした状況にならないように、お子さんがゲームをするときの約束やルールをしっかりと決めてください。学校を休んだときの過ごし方についても、お子さんと話し合ってみてください。学校としても、ゲームに負けないよう、学校生活の充実を図っていききたいと思います。



第2回学校評議員会の開催

11月26日（木）に本年度2回目の学校評議員会を開催しました。今回は、学校の近況報告とともに、1学期末に実施した学校評価アンケートの結果をもとにご意見をいただきました。評議員さんからは、新型コロナウイルス感染症による学校行事等への影響について、感染拡大を心配する声とともに、子どもたちのことを思えばこれまで通り実施してあげたいという意見もありました。また、「あいさつ」や「交通安全」、「不審者」等が話題となり、子どもたちのために地域全体で取り組んでいくことの大切さを共有しました。その後の授業参観では、児童が熱心に学習している姿に感心していました。特に、廊下に掲示してある絵画や習字を大いに褒めていただきました。学校評議員の皆様からいただいたご貴重な意見を今後の学校運営に生かして参ります。

本年度の学校評議員さんをご紹介します。（敬称略）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ●栗田 裕（羽附町区長） | ●森田 良雄（体育協会赤羽支部長） |
| ●須永 文男（安全協会赤羽支部長） | ●青木久美子（主任児童委員） |
| ●長濱マサ子（五小読み聞かせの会代表） | ●田口美奈子（子育て連会長） |

クラブ活動を紹介します

本年度のクラブ活動を紹介します。4、5、6年の児童が、自分の興味や関心のあるクラブを選択して活動しています。水曜日の7時間目に、年間10時間計画されています。クラブの一員として自分の役割や責任を果たしながら、異学年交流を通して望ましい人間関係作りをめざしています。本年度は、7つのクラブが組織されています。活動の様子を写真で紹介します。



△科学クラブ



△ゲーム・八木節クラブ



△家庭科クラブ



△コンピュータクラブ



△音楽クラブ



△体育館運動クラブ



△校庭運動クラブ